

令和7年度第2回宝達志水町青少年国際交流推進実行委員会 議事録

<日 時> 令和8年3月4日(水) 午後7時00分から

<場 所> 生涯学習センター「さくらドーム21」
2階 第2会議室

<出席者> 細江委員長、向瀬委員、宮城委員、北川委員、横山委員

<欠席委員> 大崎副委員長、源野委員

<事務局> 松浦課長、水内課長補佐、村上主幹、松岡主幹

開 会 午後6時53分

1 開会あいさつ 教育長 細江 孝

2 報 告

令和7年度青少年国際交流推進事業実績報告について
報告書により要点報告を行った。

3 議 題

(1) 令和8年度宝達志水町青少年国際交流推進事業計画について
資料に基づき説明した。

(2) 令和8年度宝達志水町青少年国際交流推進事業実施要項および参加者募集要領
について
資料に基づき説明した

(委員の意見等) ※●は委員の発言、○は事務局の発言

質問	委員 ●費用の面で、参加者負担金は示されていますが、実際は生徒一人あたりどれくらいかかっていますか。
回答	事務局 ○おおよそですが、一人50万円程かかっています。これに対して、18万円の自己負担金をいただいています。日数や内容に対する自己負担金としては、かなり安いと聞いています。なお、これには旅券取得料や海外保険料等は含んでいません。
質問	委員 ●生徒のオーストラリアでの買い物の支払いは現金ですか、カードですか。スマホで支払いをしている生徒はいましたか。
回答	事務局 ○今年度は、現金の生徒が多かったですが、カードの生徒もいました。スマホで支払いをしている生徒はいませんでした。オーストラリアはキャッシュレスが大変進んでおり、現金払いでは不便な場面もありましたので、来年度はキャッシュレス決済に対応できるように説明をするつもりです。

質問	委員 ●今年度は高校生が一人もいませんでしたが、それについての問題点はありますか。
回答	事務局 ○高校に対する参加者募集の働きかけは例年以上にしたつもりでしたが、あまり効果が見られませんでした。来年度への課題です。
意見	委員長 ●たくさん応募があるといいんですけどね。選考は大変になりますが、応募者が多くなるとありがたいです。
質問	委員長 ●派遣事業は8月14日から24日の日程で大丈夫ですか。
意見	委員 ●来年度は今年度より一週間遅くなる理由は何ですか。
回答	事務局 ○近年の例にならって、8月第2金曜日の出発で調整しました。お盆の時期ではありますが、一週間早いと北信越大会の影響も懸念されるので、中学校にも確認を取って、この日程にしました。
質問	委員 ●この内容だと中学生ありきで、高校生への配慮が足りないように思います。高校生も対象なのですから、高校生の募集に対する取組みなど、全体的に足りないと思いますが。
意見	委員 ●高校生の募集についての議論は何年か前にもしているもので、その時の議事録などを確認して、それを生かして、今後対応していけばよいと思います。中学生には対応できても、高校生では対応できないこともあります。
意見	委員長 ●高校生のネックになるのは、11日間という期間の長さもあると思います。もう少し短くすると参加しやすくなると思うので、日程の長さについても、今後、検討していく必要があります。
回答	事務局 ○来年度は11日間で実施させていただいて、今回のご意見を参考に、高校生への対応や再来年度以降の日程等について検討したいと思います。
質問	委員 ●団員の選考について、毎年、書類審査の後に面接をしていますが、この流れでいいのですか。
回答	事務局 ○書類審査の後に面接を行っていますが、書類審査の結果が面接に影響するというものではありません。最終的には二つの結果を合算します。
意見	委員長 ●厳正な審査をするため、学校長やPTAなど生徒を知る立場の委員は面接に入らないことにしています。課題はいろいろありますが、変化するのは変化させて、ベストな方法でやっていきたいと思います。

質問	委員 ●参加する生徒の中で、団長や副団長などの役割は決めていますか。
回答	事務局 ○生徒の中で特にリーダー等の役割は決めていませんが、日本文化発表でグループを作るので、その中で活動するときは、明確な役割は作らなくてもリーダー的な役割をしている生徒はいるなど感じました。
意見	委員長 ●事前研修の中でもリーダー性が育っていくといいですね。

閉 会 午後 7 時 5 2 分